

ひょうご 赤十字

2016
February
March

2・3

月
合併号

「ひょうご安全の日1.17のつどい」
に参加協力

- 「NHK海外たすけあい」にご協力ありがとうございました
- 看護学生が救急法で人命救助「のじぎく賞」を受賞
- 平成27年度第2回評議員会を開催
- 講習のご案内



 **日本赤十字社** 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目4番5号

 078-241-9889



赤十字 兵庫

検索 



「ひょうご安全の日1.17のつどい」に参加協力

～1.17は忘れない～

甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災から21年、そして、間もなく東日本大震災から5年を迎えるにあたり、日本赤十字社では、「私たちは、忘れない。」～未来につなげる復興支援プロジェクト～を全国展開し、復興支援・防災イベントへの参加などを通じて大震災の風化防止とともに、助け合いや防災意識向上の一助としていただけるよう努めています。



温かいみそ汁とともに「寒い中お疲れさまでした」と笑顔で声をかける職員

1月17日、HAT神戸(※)で「ひょうご安全の日1.17のつどい」が行われ、兵庫県支部も参加協力しました。震災で大きな被害を受けた地域を歩き、当時に思いをはせる「1.17ひょうごメモリアルウォーク」の休憩所となった支部社屋では、赤十字防災ボランティアの皆さんとみそ汁の炊き出しを行った他、阪神・淡路大震災の記録写真や経験と教訓をもとに兵庫県支部が取り組む災害救護活動、東日本大震災の救護・復興支援活動をパネル展示で紹介。子や孫に語りつないでられる姿も見受けられました。



パネル展示を通し、次代を担う子どもたちに震災の教訓を継承

防災に関する啓発や体験、東日本大震災の復興を願うイベントが開催された「交流ひろば」では、兵庫県赤十字奉仕団の皆さんが、災害時にいち早く対応できるよう訓練も兼ねて野菜たっぷりの豚汁を炊き出し、来場者に振る舞いました。ボリューム満点の温かい炊き出しに、身も心も温まった様子でした。また、「奉仕」をテーマに今年度取り組んできた兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会メンバーが、第1学期のグループワークで考えた被災地の物産品を販売する被災地支援に取り組みました。



真剣に取り組む子どもたちの姿に、着実に継承されている次なる災害への備えを実感

この他にも防災訓練への参加や心肺蘇生とAEDの体験イベントなどを実施。体験イベントの参加者は、「自治会で毎年学ぶ機会はあるが、子どもたちを優先にしている、大人が実際に触ることがなかった。今回体験できてよかった」「自分ではできても、自分に何かあった時は子どもにしてもらわないといけないので、今日は子どもに体験させます」など話されていました。

時間の経過とともに薄れる震災の記憶と、次なる災害へ備える意識を新たにさせていただく機会となった今回の「つどい」。災害からいのちを守る日本赤十字社として、震災の教訓「備える」「伝える」「生かす」を踏まえ、県民の皆さんの安全安心のため、これからも積極的な活動に取り組んでまいります。

(※) 阪神・淡路大震災の復興のシンボルとして神戸市中央区に整備された地区



約700食があったという間に終了した兵庫県赤十字奉仕団の炊き出し



2つの被災地をつなぐ青少年赤十字協議会メンバーの活躍を感じる頼もしさ



「NHK海外たすけあい」にご協力ありがとうございました



兵庫県赤十字奉仕団からの寄付金を井戸支部長へ手渡す北野委員長(左)

紛争や災害で苦しむ人々や、健康な生活のための基本的条件すら満たされない状況下で生活している世界の人々を支援するため、毎年12月にNHKと共同で取り組んでいる「海外たすけあい募金」キャンペーンに、今年度も兵庫県赤十字奉仕団や日赤有功会の皆さまをはじめ、県内主要駅での街頭募金などを通して多くの方々からご協力いただきました。お寄せいただいた募金は、中東シリアなど紛争で苦しむ人々への支援、ネパールをはじめ世界各地で相次ぐ災害で苦しむ人々への支援、マラリアなどの病気から身を守るための支援に役立てられます。



街頭募金の様子

ご協力いただいた募金のご報告

兵庫県赤十字奉仕団	1,128,700円	特別赤十字奉仕団	218,532円	NHK	318,706円
地域赤十字奉仕団	50,000円	青少年赤十字加盟校	105,651円	街頭募金	297,774円
兵庫県日赤有功会	3,705,164円	地区・区分、その他	372,167円	兵庫県支部・施設	388,834円
合計 6,585,528円					

二星看護師(神戸赤十字病院)からの国際活動報告

～ケニア共和国へ派遣中～

今回ケニア地域保健強化事業の事業担当要員として派遣されています。ケニアの首都ナイロビにあるケニア赤十字社(以下ケニア赤)内の日赤事務所(といっても机が一つあるのみ)で主に仕事をしています。具体的な仕事の内容は、看護師の仕事とはほど遠く、デスクワークが主で、2カ月に1度、事業地ガルバチュウラ県を視察します。事業地では、ケニア赤のスタッフたちが指揮を執って行っており、事業地と本社が連携しチームで活動しています。私の役割としては、計画した活動の進捗状況や直面する課題、日本の皆さまからの寄付が適切に事業に使用されているか確認するとともに、チームと一緒に対応を考えていくことで事業をより良いものに、そしてケニア赤の組織力向上に関わることが期待されています。



ケニア赤職員と打合せ中の二星看護師(左)

ケニア地域保健強化事業とは?

5歳未満児と妊産婦の疾病・死亡数の減少と保健医療サービスを受けやすくすることを目的に、保健ボランティアの育成や健康衛生教育、医療施設や資機材の整備などを行う事業。

◇二星看護師の近況報告は「神戸赤十字病院ホームページ」からご覧いただけます。



看護学生が救急法で人命救助「のじぎく賞」を受賞

ランニング中に意識を失って倒れていた男性に心肺蘇生を行い救命したとして、姫路赤十字看護専門学校2年の阿部可奈子さんがこのほど、人命救助に貢献した人などに贈られる兵庫県の「のじぎく賞」を受賞しました。

12月20日のお昼頃、阿部さんは知人と県道脇の土手で倒れていた男性を発見。119番通報の後、救急車が到着するまでの約10分間、心臓マッサージや人工呼吸を行い、男性は一命を取り留めることができました。

阿部さんは「赤十字救急法を学び、できるだけ早く心肺蘇生を行うことの重要性を知っていました。何とかして助けたいと思いました」と当時の様子語ってくれました。



「のじぎく賞」を受賞した阿部さん(左)と学校生の受賞を喜ぶ柳副校長。



平成27年度第2回評議員会を開催

2月10日、平成27年度第2回評議員会を開催しました。
 開催にあたり井戸支部長から「昨年は支部創立125周年を迎え、11月に日本赤十字社名誉副総裁の秋篠宮妃殿下をお迎えし記念式典を開催させていただいた。また年末の海外たすけあい募金では、奉仕団をはじめ多くの皆さまにご協力をいただき感謝申し上げます。来年度は、各地で災害が発生する中、さらなる災害対応力強化のための災害拠点施設の整備や日赤病院の運営指導強化のための組織改革、社員制度見直しに向けた動きもあるが、ご理解いただき、今後も変わらぬご支援ご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。
 そして、平成27年度の事業進捗状況報告に続き、平成28年度事業計画と歳入歳出予算、日本赤十字社代議員の選出について審議が行われ承認されました。



講習のご案内

お問い合わせは、
お電話またはホームページで



078-241-1499 (講習係)

救急法基礎(1日受講)

4/17^① 13:00~17:30
4/29^②

水上安全法(プール講習・4日間受講)

5/15^①・21^②・22^③・28^④
9:00~17:00(最終日は~14:00まで)

健康生活支援(3日間受講)

4/16^①・23^②・24^③
10:00~15:30(最終日は~16:00まで)

救急法基礎・救急員養成(3日間受講)

5/3^①・7^②・8^③
9:30~17:30(初日は13:00~)

幼児安全法(3日間受講)

5/13^①・14^②・15^③
10:00~16:00

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

幼児安全法 乳幼児の災害時支援 5/22^① 10:00~12:00



◇申込期日は開催日(初日)の一カ月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

地域や職場などでの研修等に講習指導員を派遣しています

兵庫県支部では、地域や職場などで開催される研修会等に指導員を派遣し、いのちと健康を守る活動を支援しています。
費用や受講人数など、講習会開催希望についてお気軽にご相談ください。

11月19日、新温泉町で行われた公益財団法人兵庫県危険物安全協会会長研修会に指導員が伺い、「高齢期の健康管理~健康な高齢者をめざして~」と題した健康生活支援講習を行いました。



無理なく気軽に、座ったままでもできる体操を実技中

いのちと健康を守る赤十字活動は、
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます



口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。